

岡山かなりや学園 支援プログラム

施設の基本理念	聴覚障がい乳幼児を早期に発見し、補聴器や人工内耳を装着して聴覚を最大限に活用しつつ、保護者と共に子どものことばとこころを育てる。			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい乳幼児を早期に発見する。 ・聴覚を最大限に活用し、ことばを育てる。 ・家族と協力して療育を行う。 ・社会性を育てる。 ・保護者への支援を行う。 			
開設日並びに開設時間	月曜日から土曜日	8時45分～17時30分（土曜日は12時45分まで）		
送迎実施の有無	なし			
支援内容				
対象児	0,1歳児	2,3歳児	4,5歳児	
本人支援	健康・生活	・通園のペースに慣れる。	・着替えや排泄など、自分でできることを増やす。	・自分でできることは自分でして、難しい時には大人に頼むことができるようにする。
		・生活の中で、自分でできることを増やす。	・登園の準備などを、自分でできるようにする。	・いろいろな活動を通して、自信をつけたり体力をつけたりする。
	運動・感覚	・補聴機器を装着し、発声量が増え、自発語がみられるようにする。	・補聴機器の装着が習慣化でき、聞いて理解できる音やことばを増やす。	・補聴機器の電池切れや故障に気づき、大人に伝えることができるようにする。
		・身体や手先をしっかりと使い、動作を模倣するように促す。	・制作活動を通して手先を使って細かい作業ができるようにする。	・聞き誤りの確認や発音の修正をする。
	認知・行動	・大人に注目し、一緒に遊ぶ中で大人の反応を期待するようにする。	・日常繰り返されることであれば、見通しや理由が理解できるようにする。	・文字・数・語想起・クイズ・ことば遊びなど、様々な課題を通して、理解できることを増やす。
		・音のオン・オフに気づき、簡単なルールの音遊びができるようにする。	・仲間分けや仲間集めを通し、上位概念や用途・特徴についての理解をすすめる。	・仮定や空想の話でも、聞いてイメージできるようにする。
	言語・コミュニケーション	・バイバイなど大人の動作を真似たり、自分から声を出したりジェスチャーしたりできるようにする。	・気持ちや見ているもの、していることについて、大人の真似をして伝えることができるようにする。	・自分の知っていることや経験等を、相手に伝わるように詳しく話すことができるようにする。
		・要求やしていることなどについて、ジェスチャーや音声で伝えることを増やす。	・身近な物の語いが増え、自分から伝えたり「何」「誰」などの質問に答えることができるようにする。	・他者の話を聞いて、内容に沿ったことを発言したり質問したりできるようにする。
		・いる—いない、する—しないなどの質問に応じて気持ちを伝えることができるようにする。	・相手の話を聞いて、関連する自分の経験を伝えることができるようにする。	・絵日記や手紙などを読んだり、自分で文を考えて書くことができるようにする。
	人間関係・社会性	・一緒に遊ぶ中で、反応を期待して大人に注目できるようにする。	・順番を守ったり、役割を交代したり、ルールを守って遊ぶことができるようにする。	・聞こえないことやわからないことを、身近な大人に伝えることができるようにする。
		・大人からの働きかけに、声を出したり、笑い返したり、ジェスチャーしたりできるようにする。	・他児と同じ遊びをしたり、ものの受け渡しをしたり、誘ったりできるように促す。	・経験したことがないことや、苦手意識があることにも、挑戦しようとする場面を増やす。
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・療育中や療育後に、その日のねらいや関わり方について伝え、家庭でも継続できるよう、支援します。 ・前期・後期末には、各種検査を行い、療育時の様子と合わせて児の成長について話し合います。 ・定期的に保護者向けの研修会を実施します。 		
主な行事など	4月 開始式 10月 おまつり 12月 クリスマス会 3月 修了式 毎月 誕生会 その他季節の行事(こどもの日、母の日・父の日、七夕、節分など)			

* 職員は療育技術の向上のため、園内外の研修に参加しています。

作成日 令和7年1月10日